

アシストネットだより

2019. 3.18.Mon.
栃木市立西方小学校

文責 地域連携教員 牧野 初美

とちぎ未来アシストネット

とは・・・

学校・家庭・地域の連携・協力を組織的に発展させ、より効果的に「学校支援（教育の充実）」や「地域の絆づくり」等を図る教育システム（平成24年度より導入）

～今年度もお世話になりました～

平成30(2018)年度も終わりに近づいています。この1年間、子どもたちの教育に、ともに携わっていただき、誠にありがとうございました。皆様のおかげで、充実した学習が展開でき、学習のめあてを達成することができました。子どもたちは、様々な体験から、多くのことを学び、考えを深めることができました。子どもたちの中に育まれた力は、今後の学習や生活に生きて働いていくものと思います。

次年度も、地域の皆様とともに、子どもたちを育てていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

2学期・3学期の取組の中からいくつかご紹介いたします。

☆4年・総合的な学習の時間「福祉の学習」 『認知症サポーターキャラバン』



西方地域包括支援センターを通して、「ふれんど西方」の方に依頼し、『認知症サポーターキャラバン』の学習会を行いました。

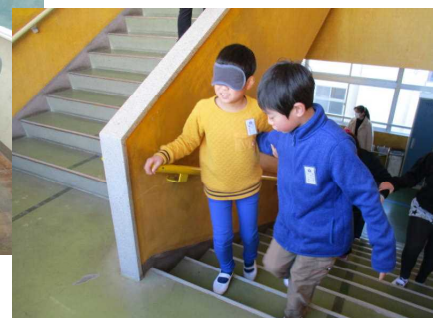
認知症とは、どのような症状か、高齢者と接するとき気を付けるとよいことなどを、分かりやすく教えていただきました。

民生委員の方も同席してくださり、体験を交えながら学びました。

『盲導犬ユーザーさんのお話』

盲導犬ユーザーの坂田さんに来校いただき、補助犬の利用についてや、盲導犬と一緒に生活の様子についてのお話をさせていただきました。

実際に目の不自由な方の体験として、アイマスクをして二人組で歩いたり、点字の資料を見せていただいたりして貴重な学習をすることができました。



☆6年・総合的な学習の時間「自分の将来について考えよう」

西方なかよしこども園 安生 明巳 先生



6年生の将来の職業の学習では、この他にも、西方病院 菅野先生、飯沼銘醸 飯沼さん、いちご農家 駒場さん にご協力をいただきました。ありがとうございました。

6年の総合的な学習の時間では、「自分の将来について考えよう」というテーマで、学習をしました。テーマのとおり、自分の将来について考えました。将来の夢は…どんな仕事に就きたいかな、それはどんな仕事かな、どうすればなれるのかな…といった学習をしました。2学期から学習していたのですが、3学期には、地域で働いている方に、「仕事」について、お話を聞かせていただきました。「どうして、その仕事に就いたのか」「仕事の特徴」「仕事への思い」「努力や工夫」等、お話を聞くことを通して、「自分はどうしたらよいか」など、自分を見つめることができました。とても有意義な時間となりました。ご協力いただき、ありがとうございました。

☆5年・家庭科「エプロン作り」



5年生の家庭科では、3学期に「ミシンにトライ！手作りで楽しい生活」の単元で、初めてミシンの使い方を学習しました。アイロンの使い方や、ミシンの使い方の基本を教えてくださいました。直線縫い・返し縫いを覚えて、ポケットを付けたすてきなエプロンを完成させることができました。



この1年間、大変お世話になりました。
次年度も引き続き、ご支援とご協力をどうぞ
よろしくお願いいたします。

☆ 学校行事や各種おたよりを、ホームページに掲載しています。
是非、ご覧ください。 <http://tm2.tcn.ed.jp/nishikatasho/>
携帯電話・スマートフォンからもご覧いただけます。

